

参加無料 第32回  
**不妊相談会**  
 2024年  
**11月9日(土) 13:00~15:00**

体外受精、顕微授精で悩んでいる方のために

この相談会では、なぜ不妊となるのか、自分たちですべきことは何か、保険の実情、そして最高の高度生殖補助医療(体外受精、顕微授精など)とは何かを解説します。

今や生殖補助医療は広く普及し、日本は世界で一番多く採卵を行っています。しかし妊娠率は、世界最低であることをご存じでしょうか。自然周期や低刺激などの妊娠率の低い方法の乱用。胞胚移植、顕微授精、凍結胚移植でしか妊娠しないと決めつける偏狭な治療方針。不妊を治す健康努力もせず、技術のみを過信する傲慢さ。こうした間違った方法が蔓延しているからです。反復着床不全とは言い難い症例に、まだ有効性も確立していない高額検査が多用されています。その結果、一回も移植を受けることもなく、検査や採卵だけをただ何回も繰り返している患者さんがいるのです。

42年間、生殖補助医療を天職として夢中にしてきた私にとって、素晴らしいこの技術が不適切に運用されているのは、とても残念です。不妊治療に悩んでいる方は、是非この不妊相談会に参加し、正しい知識を知りましょう。

2022年4月より保険診療による生殖補助医療が開始され、当院でも順調に妊娠しておられます。保険は自費に比べ安価で、生殖補助医療が受けやすくなり、良いことです。半面、認められる医療には制限があり、何でもできる訳ではありません。38歳以上の方、AMH値2未満のような卵巣予備力低下例、反復不成功例などの重症の方では、安易に失敗を繰り返し、結果、大切な時を失い最終的に子供を諦めることもあります。

当院が難治例を救える理由は、(1) 様々な卵巣刺激法と卵巣予備力低下の新しい治療法を開発し、患者さん個々に応じた最適な卵巣刺激をしていること、(2) 採卵、ラボ・ワーク、移植を通して、絶えず至高の技術を探求し続けていること、(3) 生活習慣の改善で患者さんを健康にし、より良い卵子と精子にすることにあります。そして「何とか妊娠してもらいたい」と強く願う、当院スタッフの厚い情熱こそがこれらを可能としております。

患者さんを健康にし、各個人に応じた最適な卵巣刺激を行い、最高の技術で生殖補助医療を行うことで、妊娠不可能が可能となりますのです。私の知識と経験と情熱が少しでも皆様の幸せにつながれば幸いです。

ウィメンズクリニック神野  
 院長 神野正雄

**講演者**

ウィメンズクリニック神野  
<https://xs132599.xsrv.jp/>  
 院長 神野 正雄



**略歴**

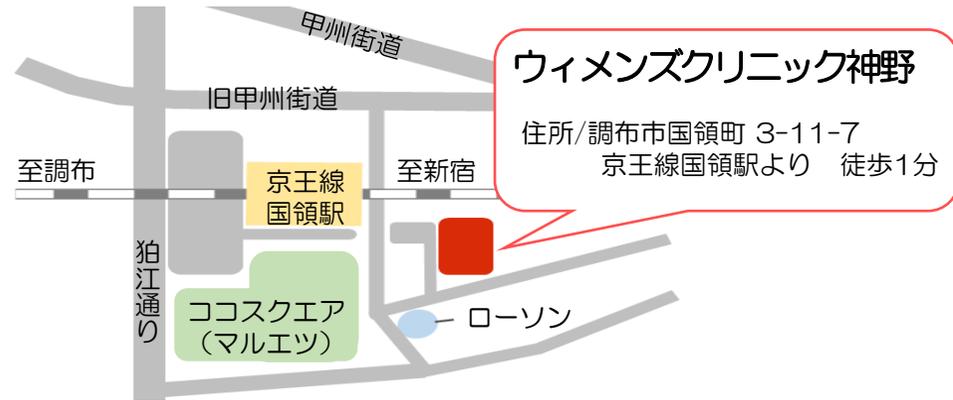
- 1980年 慶應義塾大学医学部卒業
- 1983年 同大学院入学、体外受精を開始
- 1985年 日本最初の体外受精による双胎妊娠に成功
- 1986年~88年 米国 Eastern Virginia Medical School に留学
- 1990年 Charles Thibault Honorary Lectureship を受賞
- 1991年~04年 杏林大学医学部産婦人科で講師そして准教授
- 1998年 世界体外受精会議記念賞を受賞
- 2002年 ウィメンズクリニック神野院長 (国領駅前開業)
- 2011年 世界体外受精会議記念賞 2度目の受賞
- 2018年 ウィメンズクリニック神野生殖医療センター開設
- 2022年 世界体外受精会議記念賞 3度目の受賞

**専門医・資格**

- 医学博士 (慶應義塾大学、甲)
- 日本産科婦人科学会および日本専門医機構 産婦人科専門医
- 日本生殖医学会 生殖医療専門医および指導医
- 日本受精着床学会 評議員
- 日本抗加齢医学会 評議員

- 東京都特定不妊治療費助成事業 指定医療機関
- 不妊に悩む方への特定治療支援事業 指定医療機関

**会場**



**お問い合わせ**

電話/042-480-3105

月~金 (水は午前中のみ)  
 9:00 ~ 13:00  
 15:00 ~ 17:00

先着申し込み **28** 名

相談会後に個別でのご相談も可能です。  
 申し込み順にお受けします。

\*参加希望の方は、お問合せ電話番号までご連絡ください。